

に い が た ろうしきょう NEWS

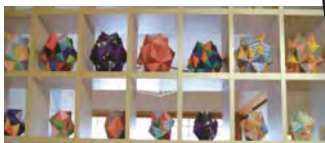
新潟県老人福祉施設協議会広報誌

2016.3.4 NO.26

巻頭シリーズ・元気な笑顔が素敵！ すまいる介護マン



1



施設に入ると、ギャラリーが。近在の方などから寄付された作品などが並ぶ(写真上)。各ユニットにも、入居者の作品などをギャラリー風にレイアウト。



2

担当するお客様と。どうやって笑顔を引き出すか、会話を弾ませるか、「一人一人にちゃんと向き合って考えることが大事」。

次は、介護福祉士の取得にチャレンジしたい。

お客様のそれまでの生活の質を
どう継続できるかが一番大切な
ポイント。

すまいるマン 桑原拓也 さん

- 所属 特別養護老人ホーム こころの杜
- 経歴 1991年11月生まれ 南魚沼市出身。八海高校福祉科(当時)～長岡こども福祉カレッジ(連携する東北福祉大学通信学科含む)卒 社会福祉主事・ヘルパー2級
- 趣味 ショッピング



3

各ユニットで共用空間もレイアウトや調度品が異なる。そのユニットごとに住む人が違うから、その個性と状態に合わせていくと、ひとつずつ違う形になる。



特別養護老人ホーム こころの杜

- 運営 社会福祉法人 苗場福祉会
- 特別養護老人ホーム 80名
- ショートステイ 10名
- 新潟県南魚沼郡六日町1148番地1
- TEL025-770-1123

もう二度とこんな失敗はしない。

■就職の理由

子供の頃から面倒を見てくれていた近所のおじいちゃんが、中学の時に病気に。病院に付き添ったりしている内に、介護に関心が湧いてきました。高校の福祉科に入った時、先生に「この世界は甘くない。辞めたい人は辞めてもらってけつこう」。中途半端な気持ちではできない仕事だと初めに教わりました。確かに大変でしたが、技術を覚えて褒めてもらうのがうれしくてのめりこんだ。

■仕事のポイント

大切なのは、お客様の生活の質をどう継続させるか、だと思います。喜びも悲しみも、この空間の中でどう引き出せるか。ただ介護すればいいんじゃない。入職した時から叩き込まれました。その方のこだわりに合わせて生活が送れるよう、お手伝いしたいですね。

■忘れられない経験

入ってしばらくすると慣れてきて調子に乗っていた時期があります。その頃、熱が出て食事を居室で召し上がったお客様がいて、ごはんを扉の前に置いて「ごはんですよ」と声をかけた。その時、ベッドから立ち上がり倒された。軽傷を負ったんです。過去にも転倒された事がある方だったので配慮不足で、それはショックでした。同じユニットの先輩に励ましてもらい、怪我が治っていくのにつれて少しずつ立ち直りましたが、「もう二度とこんな失敗はしない」と強く誓いました。その後、あるお客様に「あなたが担当で良かったと言われたり、勤務の責任者を任せられたりで少しずつ自信ができました」。

■今後の自分

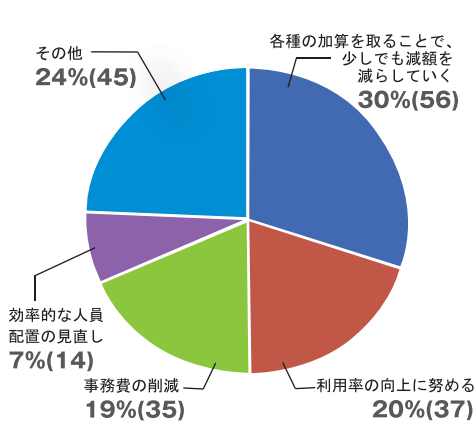
社会福祉士の資格試験を終えたばかり。次は実務者研修を受けて、介護福祉士の資格を取りたいです。

経営実態調査について

本会総務委員会では今年度よりアンケートなどを活用し、各事業所の経営実態の調査研究をする企画事業を立ち上げました。経営実態の把握により、介護福祉施設の現状や問題点を共有し、情報発信や経営改善の一助とするものです。第1回目は「介護報酬減額改定6カ月を経て」との内容で、特別養護老人ホームの皆様から「文書アンケート」と「損益状況比較表」をお願い致し、100の施設から回答を頂きました。（回答率55%）書面の都合で広報誌には文書アンケートの一部のみの掲載となりますが、今後とも継続して会員の皆様に報告していく方針です。ご協力をお願い致します。

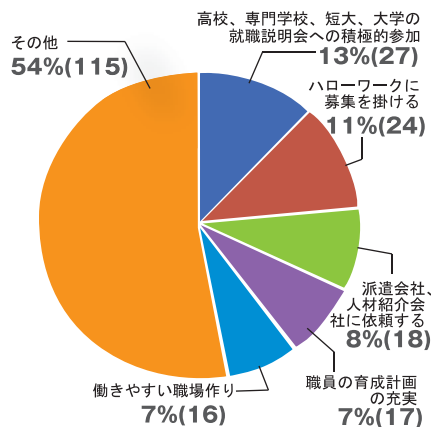
※ アンケートは複数回答有。（）内の数字は回答数。

1.減額改定への具体的な対応はありますか？



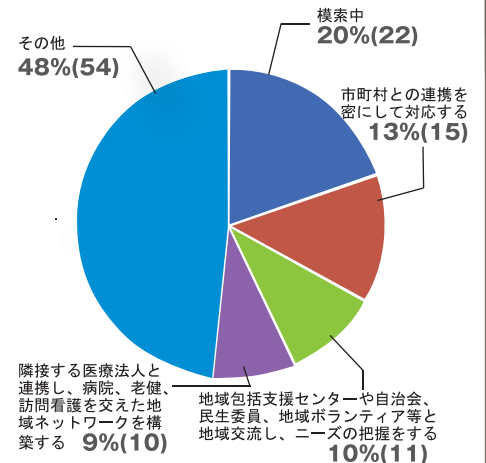
※ その他の内容は下段を参照ください

2.人材不足対応はどのようにされていますか？ 又は、どのようにされていく方針ですか？

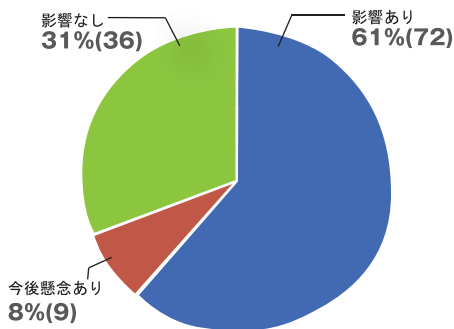


※ その他の内容は下段を参照ください

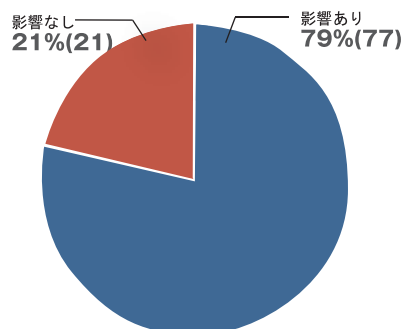
3.地域包括ケアに対する対応はどのようにされていますか？ 又は、どのようにされていく方針ですか？



4.周りに介護事業への参入、新規開設への影響はみられますか？

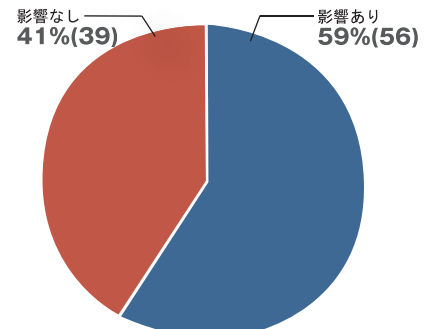


5.資金面への影響はありますか？ 対応はどのようにされていますか？



※ 影響ありの主な回答は下段を参照ください

6.処遇加算の効果はありましたか？



※ 主な意見は下段を参照ください

設問1 <その他の内容>

- ・ 消耗品の一括発注
- ・ 消耗品、リース物品の見直し
- ・ 赤字部門、事業の廃止
- ・ 新規利用者の確保 他

設問2 <その他の内容>

- ・ 離職防止のための定期昇給や手当新設による職員の処遇改善
- ・ ホームページ、独自のチラシ、パンフレットを活用した求人
- ・ 実習生を受け入れ、採用につなげる
- ・ 職員からの紹介してもらう制度
- ・ 余裕を持った人員配置
- ・ 業務内容の見直し（外部委託）

- ・ 人事制度の見直し 他

設問5 <主な影響ありの回答>

- ・ 燃料費、光熱費、消耗品費などを減らす。
- ・ 職員の自己負担の増加（制服などの貸与から買い取り）
- ・ 繰越金の取り崩し、サービス区分間の繰り入れ
- ・ 施設設備更新の繰り延べ、修繕費の見直し
- ・ 積立金の取り崩し
- ・ 金融機関借入 他

設問6 <主な意見（影響のあり、なしを問わず）>

- ・ 介護職員の定着に繋がっている。
- ・ 効果はあると思われるが、一時的な処遇改善であることから、今後不安がある。
- ・ 介護職員のための支給であり、他職種からの不満がある。
- ・ 国から示された基準より給与を上乗せしているか、職員配置を手厚くしているかなども見てもらわないと、それなりの処遇をしてきた施設にとっては、経営が苦しい。
- ・ 介護報酬の減額の幅が大きく、処遇改善加算が増額されても、その下げ幅を埋めることが出来ない状況。

平成28年度新潟県福祉団体共同要望



昨年12月15日に県庁において、県内13の福祉団体の代表者が泉田知事と面会し、県の2016年度予算編成に向けた要望を伝えました。共同での要望は13年から毎年行っていますが、不足する介護職員の養成に向けた体制強化など12

項目を求めました。本会からは、介護職を目指す人向けに新潟県立テクノスクールが行っている実務者研修を他の3か所のテクノスクールに広げ、自宅から毎日通学できる研修制度作りを要望しました。

マイナンバー研修



講師 宮嶋英治氏

11月30日に燕三条地場産センター・メッセピアにて、マイナンバー研修会が200人を超える参加者で開催されました。講師はTKC中部会副会長で特養の税務・財務に詳しい岐阜県の宮嶋英治税理士が務められました。

研修はTKCの「マイナンバー制度実務対応ガイドブック」及び、今回の研修にあたり受講者から募集した質問と講師の回答を記した「Q & A」の解説を中心として進められました。宮嶋講師の熱血指導の下、研修会は大いに盛り上がりました。

平成28年度 大会・研修予定

研 修 名	日 程	会 場
多職種連携研修 一機能訓練編一	佐渡会場 6 月 燕三条会場 11 月 17 日 (木)	佐渡市 燕三条地場産センター
中堅職員研修 コース I	第 1 回 目 6 月 6 日 (月) 第 2 回 目 (フォローアップ) 平成 29 年 2 月 7 月 5 日 (火)	新潟ユニゾンプラザ 新潟ユニゾンプラザ
多職種連携研修 一口腔ケア編一 第 22 回新潟県老人 福祉施設研究大会	9 月 12 日 (月) ~ 13 日 (火)	第 1 日 目 ハイブ長岡 第 2 日 目 長岡グランドホテル ホテルニューオータニ長岡

研 修 名	日 程	会 場
関東ブロック カントリーミーティング	10 月 6 日 (木) ~ 7 日 (金)	NASPA ニューオータニ
新任職員研修	10 月 18 日 (火) ~ 19 日 (水)	燕三条地場産センター
中堅職員研修 コース II	11 月 11 日 (金)	燕三条地場産センター
認知症実践研修 (実践者研修)	12 月 ~ 平成 29 年 2 月	新潟ユニゾンプラザ
介護力向上講習会	平成 28 年 4 月 ~ 平成 29 年 2 月	燕三条地場産センター

※ 変更になる場合がございます。詳細が決まり次第ご案内いたします。

21世紀委員活動報告

平成28年1月22日 第1ブロック部会第2回研修会

第1ブロック運営委員として私がずっとお招きしたかった菊地雅弘先生をやっとお招きすることが出来ました。とても熱く情熱溢れる話をいただき、みんなが元気をもらい、参加者の皆様の会場に來た時と、帰る時の表情が違っていたと思います。ありがとうございました。(担当：島田裕介)



平成28年2月2日 第2ブロック部会第2回研修会

新潟ユニソンプラザにて研修会が開催されました。

「制度改正を受けての現状と今後について～今、何を考え、何に取り組むべきか～」をテーマに、本会の高橋是司副会長を講師に迎え、減額改定への具体的な対応と方針、人材不足の対応と方針等を中心に講義をいただき、今後の課題と対応策に関する理解を深めました。(担当：菅原正克)



平成27年12月18日 第3ブロック部会施設見学研修会

特別養護老人ホームわしまにて、「地域密着！繋がる 広がる 食事の和 ～フレンチを取り入れた調理法～」と題し、施設見学会を行いました。食材は障害福祉サービス事業所で生産した野菜や製造したパン、野菜直売所などで地元産を取り入れ、高齢者が食べやすく素材ごとに味わうことができるよう、フレンチの手法を用いた調理法の事例発表がありました。また、普通食とムース食の食べ比べをしながら意見交換が活発に行われ、とても充実した研修会となりました。(担当：中澤葉子)



平成27年度介護力向上講習会【新潟分校】

今年度の介護力向上講習会の下半期のテーマを『常食化』とし、はまゆうでも常食化の取り組みを行っています。

介護力向上講習会での講義において、基本ケア4つ「水分摂取、食事、運動(歩行)、トイレでの排泄」がとても大切であるということを学びました。

施設で取り組みを行う前に、介護力向上講習会で学んできたことを「伝達研修会」と言う形でパワーポイ



第2ブロック
特別養護老人ホームはまゆう
渡辺未来さん

ントを使用し、「基本ケアについて」と「常食化移行にあたって」という内容で講義・実践を行いました。実践では常食のリングと刻みのリングを実際に食べ比べて貰い、味の違いや咀嚼回数はどうだったかを職員に体験して貰いました。基本ケアの大切さや常食移行の為の基本等もおさえて貰いました。研修後に介護リーダーや看護師、理学療法士、栄養士と何回も話し合いを重ね、アセスメントの実施、取り組みの実践、取り組みの評価を行いました。

開始当初は試行錯誤でやっていましたが、他職員協力のもと、4週間で今まで歩行していなかった方が数m歩行器で歩けるようになったり、12月の段階で3名常食へ移行することができました。

利用者1人1人に合わせて水分摂取を勧めること、歩行訓練や歩くための第一歩の立位保持を行うこと、しっかり咀嚼をすることで常食を召し上がって頂くこと、トイレでの排泄のアプローチを行う等、介護力向上講習会で学んだことを活かし、今後の自立支援介護に取り組んでいきたいと思っています。

「ONの私」



「OFFの私」



第4ブロック
ケアセンター三好園しんざ
ユニットリーダー
羽鳥裕史さん

ユニットリーダーとして働いている羽鳥裕史さん。ユニットケア研修の指導者として県内、県外の各方面で活躍されています。

そんな羽鳥さんは、高校時代の平成13年の夏に県立十日町高校野球部として甲子園への出場を果たしています。甲子園では白球を全力で追いかけ、全国の高校球児の憧れである甲子園でプレーをしました。仕事では入居者の方々の想いを引き出し、小さなことでも実現するために、笑顔とコミュニケーションを大切にしています。毎日が楽しく、入居者の笑顔と「ありがとう」の言葉が活力です。(文 佐野須奈子さん)



第5ブロック
にしかりの里デイサービスセンター
介護員
はざま
間 美和子さん

8年前から職場の先輩に誘われて地元の「よさこいチーム」で活動しています。県内のイベントや富山や石川での「よさこい祭り」にも参加しています。また、毎年職場で開催される地域交流イベントでも踊りを披露しています。皆で目標に向かい、曲・踊り・衣装を作り上げる課程が魅力で、「よさこい」をきっかけに様々な人との繋がりもできました。仕事にも「よさこい」で培った度胸がコミュニケーションや余暇活動にも生かされています。家族や周りのみんなの理解もあり、今まで続けられたことに本当に感謝しています。



介護あるある川柳



まじやべえ

腰に違和感

やっちまったあ

匿名さん

「良かったわ」

あなたがいるから

ごはんくる

U-girlさん

帰宅後の

耳に残りし

コール音

小口そのこさん

夜勤中

一緒にねましようど

さそわれる

金子 浩之さん

入歯ズレ

笑った目から

メガネ落ち

大桃 俊彦さん

多くの皆様から介護現場で感じたことや小さな発見などを川柳で詠んでいただき、お礼申し上げます。今後も表現豊かな作品のご応募をお待ちしています。

「笑顔あふれる施設」を、目指して!

特別養護老人ホーム 聖籠まごころの里 施設長

佐藤 紀子さん

●施設長リレーコラム●



聖籠まごころの里は、近くに日本海が一望できる「次第浜海水浴場」、防風林の松林、「ウェルネスパーク聖籠」のベッタウンに隣接した施設で、「次第浜海水浴場」は、最高の散歩コースになっています。また、平成26年7月にオープンしてから、近隣の皆様には、ご理解とご協力を頂き、大変感謝しております。

まだオープンしてから1年半と、まだまだ未熟な施設ではありますが「笑顔あふれる施設」を目指し、何が必要で、何が大切なのか、何が出来るのかを考えご利用者様、ご家族様に「ここよかった」と、言って頂ける施設になりたいと思っています。

この様な事を目標に、日々の生活の中で、ご利用者様に喜んで頂けるよう、様々な行事やレクリエーションを企画して、楽しんでもらえるようにしています。

先日も、100歳を迎えたご利用者様の誕生会を企画し、ご家族様をお迎えして、ユニットでにぎやかに行いました。職員手作りのケーキとプレゼント、職員による一芸でお祝いして、大変喜んで

頂きました。

「ありがとう」の言葉と、ご利用者様の「笑顔」が、この仕事をしている私達のこころの支えになっています。

勤務する職員も、経験豊富な職員から介護経験ゼロからのスタートの職員もいます。持っている知識や意見もそれぞれですが、何より「笑顔」で居られることが職員にも利用者様にも大切な事だと日々実感しています。職員が楽しく介護が出来て、笑い声が絶えない「笑顔」で、良いサービスの提供が出来るよう環境の整備や様々な取組を、積極的に行い、目標の達成を目指したいと思っています。

自然と「笑顔」になる事が出来て、利用者様にとっては、「居心地の良い場所」職員にとっては「働きやすい場所」であるために、「笑顔の花」を、沢山咲かせることが出来るように、これからは努力し、「まごころ」込めたサービスを、提供出来るよう頑張りたいと思います。



敬老会にご長寿をお祝いして、記念の写真を撮りました。私の「お気に入り」の1枚です。



「100歳、おめでとうございます」

職員がこころを込めて、手作りの「まごころケーキ」です。



事業所所在地	新潟県北蒲原郡聖籠町大字次第浜5298
運営事業者	社会福祉法人 真心福祉会
事業所の種類	特別養護老人ホーム
定員	70名
連絡先等	TEL 0254-27-0808 FAX 0254-27-0888

発行所 一般社団法人 新潟県老人福祉施設協議会
新潟県新潟市中央区上所2丁目2-2 新潟ユニゾンプラザ2F
電話 025-281-5534 発行人 市井 栄吉
にいがたろうしきょう NEWS 平成28年3月4日発行